平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅡB(SeminarⅡB) 【工藤ゼミ】			授業コード	E002570
担当教員名	工藤　順一			科目ナンバリングコード	E21202
配当学年	2	開講期	後期		
必修・選択区分	必修	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	できるだけ日経新聞や大分合同新聞に目を通して大分県の産業を見ておくようにして下さい。				
受講心得	ゼミには、必ず出席して積極的に発言・討論してください。				
教科書	合格テキスト　日商簿記2級　商業簿記(TAC出版)最新版				
参考文献及び指定図書	「合格トレーニング　日商簿記2級　商業簿記(TAC出版)」、「大分学」(明石書店)、「論語と算盤」(ちくま書房)、「仮名論語」「大学を素読する」(致知出版社)等　その他参考文献については講義の際に指示します。				
関連科目	会計ｺｰｽの科目(簿記原理・原価計算論・監査論・管理会計論)その他経営学全般				

授業の目的	工藤ゼミの目的・到達目標は次の通りです。 1. ビジネスの基本となる経営・会計の基礎知識を習得すること 2. プレゼン能力を育成すること なお、「宅建取引士」や「日商簿記検定」・「税理士」などの各種資格を目指している学生にも、勉強の方法等をアドバイスしていきます。
授業の概要	このゼミでは、金融機関や県庁、企業の経営者にもゼミに参加していただき、大分県における産業の歴史や現在の課題や問題点を説明していただき、意見交換も行います。また、企業や官庁を訪問して実際の企業の活動を見学します。また、日照簿記検定3級の資格は取得してほしいので、授業の中で過去問等を解いていきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： ゼミナールⅡBの概要説明 ゼミ研究と就職活動の進め方について、概要を説明します。	就職先について、業界や会社について新聞やテレビで情報を得てください。
第 2 週 ： 自分の将来を描く 最初に、履歴書を作成します。履歴書は就職活動に使用するものですので、書きながら自分に足りない点や、将来に向けて取得すべき資格等があれば書いていただきます。	宿題として、履歴書で埋めきれなかった部分を埋めてきてください。
第 3 週 ： 引当金を理解する テキストを使いながら、引当金を学習します。全体像を理解しながら、貸倒引当金を学習します。その他、修繕引当金や商品保証引当金等を学習します。	3級のテキストにより引当金の流れを予習しましょう。
第 4 週 ： 外貨換算会計 外貨で表示されている金額を円貨金額に変更することを学習します。取引発生時、決済時の会計処理を学習します。次に為替予約を学びます。	海外への旅行等、外貨換算の事例をピックアップして、外貨換算を予習してください。
第 5 週 ： 税金の処理 税金の分類を学習し、その中でも法人税の中間申告時、決算時の処理や消費税の税抜処理や税込処理の違いを学びます。	予習として、あなたの周りの税金について、どんな税金があるか考えて来て下さい。
第 6 週 ： 株式の発行 株式会社の設立について学び、株式会社の機関を理解します。次に、資本金や資本準備金・利益準備金を理解します。最後に株式発行により調達資金の資本金への組入の仕訳を学びます。	会社にはどのような種類があったかを経営学のレジュメで調べてきてください。

第 7 週 ： 外部講師との意見交換 県庁の職員さんにゼミに参加していただき、大分県の産業全体について情報交換や意見交換を行います。	大分県の産業の特徴を予習として調べてくてください。
第 8 週 ： 剰余金の配当と処分 株主総会で決まられた剰余金の会計処理を学びます。利益剰余金の会計処理について、配当と処分時の仕訳を学習します。	予習として、剰余金の定義を調べておきましょう。
第 9 週 ： 外部講師との意見交換 金融機関の職員さんにゼミに参加していただき、大分県の金融業について情報交換や意見交換を行います。	復習として、今日の講師の感想をA4用紙1枚にまとめてください。
第10週： 決算手続 会計期間ごとに帳簿を締め切り、貸借対照表と損益計算書を作成する一連の手続きを学びます。決算整理前の残高試算表から、決算処理や費用収益の締め切り等を学習します。	予習として、決算仕訳を調べておきましょう。
第11週： 本支店会計 本店と支店間との内部取引についての会計処理を学びます。	復習として、本支店会計に関して合格トレーニングで設問を解きましょう。
第12週： 合併と事業譲渡 吸収合併時の会計処理と、事業譲渡時の会計処理の違いを学習します。のれんについては、のれんの償却方法を学びます。	復習として合併に関して合格トレーニングで設問を解きましょう。
第13週： 連結会計 連結会計の意義と連結時の会計処理や連結修正仕訳を学びます。	復習として連結に関して合格トレーニングで設問を解きましょう。
第14週： 古典と簿記 経営者の多くが論語等の古典を読んでいます。経営者は毎日選択の連続ですが、その選択する基準を論語と読んで学びます。私たちも、古典に少し触れてみましょう。	論語のレジュメを配布します。毎日5分程度声に出して復習しましょう。
第15週： 古典と簿記 経営者の多くが論語等の古典を読んでいます。経営者は毎日選択の連続ですが、その選択する基準を論語と読んで学びます。私たちも、古典に少し触れてみましょう。	小学等のレジュメを配布します。家で毎日5分程度声に出して復習しましょう。
第16週： 期末試験 試験は行いません。研究発表をもって試験といたします。	予習として、自分の研究の内容のテーマを決めてきて下さい。

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー Ⅱ：地域での体験交流活動を教育内容に含む科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	グループで活動しますが、役割分担を決めて分業しましょう。外部の講師も参加するので、積極的に質問や意見交換してください。
【知識・理解】	大分県の産業界を理解するための基礎的な知識を身につけてください。
【技能・表現・コミュニケーション】	業界の理解のためには、日商簿記等の資格を取得し、読み取れるようにしましょう。そのためには簿記検定3級及び2級の資格は取得しましょう。
【思考・判断・創造】	研究を進めるに当たり、どの分野の資料をどこで入手するかについてよく考え、判断して行動しましょう。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	**10点**	**10点**	**10点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**10点**	**10点**	**10点**	
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	**10点**	**10点**	**10点**	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			**10点**	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	研究内容については、毎回簡単なレポートにまとめていただきます。それらの提出をもって出席に代えますので、遅刻せずに課題を解いて提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。Sレベル:達成目標を満たしている。Aレベル：ほぼ満たしている。Bレベル：なんとか満たしている。Cレベル：一部分満たしている。
発表・その他（無形成果）	授業の中で適宜質問します。質問に対する解答については、成績評価において加点することがあります。